

# 県産材の利用促進に関する施策の実施状況について（令和4年度）

## 1 住宅、民間建築物、公共建築物、公共土木施設における県産材の利用拡大

○公共建築物や公共土木事業での県産材利用実績

	木材使用量	県産材使用量	県産材使用率
県営建築工事	1,032㎡	520㎡	50%
県営土木工事	525㎡	498㎡	95%

○公共建築物のうち、木材利用方針で原則木造と規定している低層の建築物の木造割合 100%

○上記の建築物における県産材使用割合 50%

○県産材を使用した住宅等への助成（いしかわの森で作る住宅推進事業）の実績

区分	5㎡～7㎡ 7万円/戸	7㎡～15㎡ 10万円/戸	15㎡～20㎡ 15万円/戸	20㎡～ 30万円/戸	25㎡以上かつ 90%以上50万円/戸	外構部(木塀・木柵、 ウッドデッキ)	合計
交付件数	22	133	30	34	21	24	264

○県産材を使用した民間施設への助成（いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業）の実績

交付件数	飲食店2件、事務所5件、工場1件、保育園1件、医療施設2件、その他3件
14	

○県産材利用で他の模範となる住宅、施設、製品を表彰（いしかわの木づかい表彰）

## 2 合板、集成材等の木質材料、木質バイオマス等へ県産材有効利用

○柱材等への利用に向かない、曲がりがある木、節の多い木、小径木等（B材、C材）について、合板、集成材、木質バイオマスとしての利用を推進

- ・ 県、森林組合連合会、コマツの「林業に関する包括連携協定」に基づき、コマツ粟津工場に導入した木質バイオマスボイラーでの県産低質材の利用（H26～）

## 3 県産材の新たな用途の開発及び普及

○林業試験場にて、県産材の新たな用途開発のための試験研究を実施

- ・ 県産スギ大径材利用促進のための製材品の変形抑制技術の確立（R4～6）

## 4 県産材の利用促進に必要な人材の育成

○中・大型建築物の木造化を提案できる建築士などの育成

- ・ セミナー実施回数5回 参加者数 延べ201名

## 5 県内外における県産材の需要及び販路の拡大

○県内外のイベントにて県産材の良さをPR

- ・ 全国規模の展示会（ジャパンホームショー）にて、県産材を使用した建材等をPR
- ・ 県民や住宅メーカー等を対象としたセミナー等の開催により、県産材の魅力をPR
- ・ 石川県産材ロゴマークを活用した県産材利用の機運醸成、認知度向上

## 6 県民等が県産材に親しみ、森林環境等について理解を深められる機会の提供

○木に親しみ、森林への理解を育む木育の実施（森林への理解を育む木育推進事業）

出前講座：8カ所 参加者：園児等320名

○森林整備や木材加工の現場を見学・体験する実感ツアー等の実施

実感ツアー：7回、小学生257名 木づかい推進・森づくり大会：5地区、231名